

## 一小の校内研修(一人1授業・中期指導主事学校訪問 授業研究会)

### 道徳科の学習

令和3年11月19日(金) 第2校時 5年2組

<主題名> 謙虚な心で 資料「約束」

<学習について>

この学習は、次のような力を育てることをねらいとしています。

グループ活動で2人の行動を比較しながら考え、相手の立場に立って考えることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。

資料「約束」は次のような話です。

結衣は遊ぶ約束をしたのだが、図書館に行く当日、祖母が病院に運ばれ図書館に行くことができず、陽菜に連絡することもできなかった。結衣の事情を知らない陽菜は、結衣が約束を破ったのだと思い、インターネット上のグループトークに結衣のことを書き込み、拡散してしまう。

活動1 アンケート結果をもとに、友だち関係で問題が起きた原因を考える。



タブレット端末を使って「友だちとの問題」についてその原因を提示しました。「悪口を言われた時」「無視された時」などの意見が出され、本時の学習で考えていく学習のめあてを考えました。タブレット端末が配備されたことにより、即座に意見を集約し提示できるようになりました。

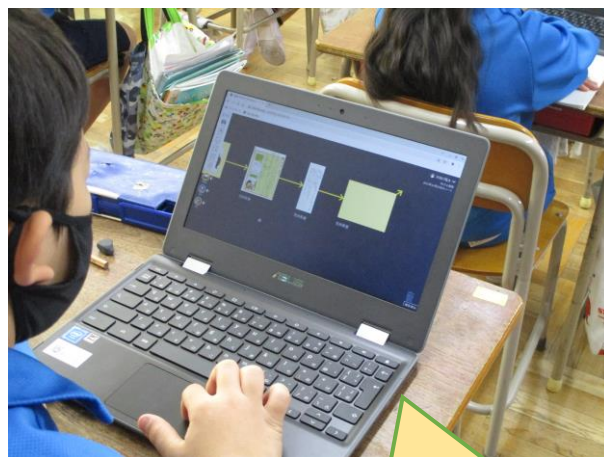
活動2 「約束」を読んで、謙虚な心の大切さについて話し合う。



資料を分割しながら読み進め、内容を短時間で把握することができました。



まずは、陽菜と結衣の気持ちを自分で考えました。



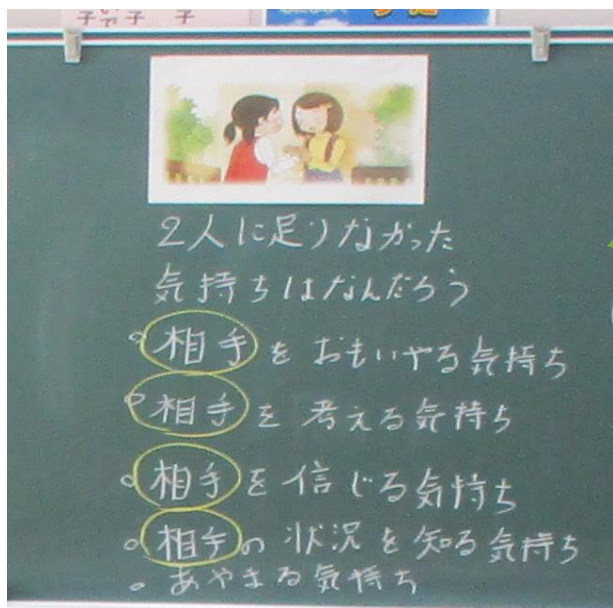
そして、考えたこと、感じたことをタブレット上のカードに書いていきました。



タブレット上で友だちの考えを見えています。それぞれの考えを発表し合い、教師が児童の考えを整理していきました。



続いて、グループで陽菜と結衣の気持ちについて自分の考えを伝え合いました。意見が食い違い、活発に話し合う様子が見られました。



その後、2人に足りなかった気持ちを考え、発表し合いました。

「相手」の立場や状況を推し量り、思いやることや信じる気持ちをもつことの大切さが共有され、価値ある学習となりました。

### 活動3 相手と接する時に大切なことを考え、ノートに書く。



グループでの話し合いがとても有効で、自分の考えを深めていました。「相手の立場に立って自分の意見を伝える」ことの大切さを考える意義深い学習となりました。



授業研究会の様子です。

充実した研究会となりました。